

マリリンズ

26
年度
目

ヤンキース

松井悔しい……

「4番」不発 目標「世界一」逃しメジャー1年目終了

写真②試合続けて4番に起用されたものの不発。この試合最後の打席も左飛に倒れ、ベンチ前でシスターにねぎらわれるヤンキースの松井
(写真右) 9回、最後の打席で左飛に倒れ、うつむきながらベンチへ戻るヤンキースの松井(共同)

日刊スポーツ

NIKKAN SPORTS

10月26日 日曜日
2003年(平成15年) PM17:00



MVP
ベ
ケ
ツ
ト



写真=優勝を決めグラウンドへ飛び出し、大喜びのマリーンズナイン(共同)



「ワールドシリーズ第6戦・マリリンズ2対0ヤンキース」
◇25日◇ヤンキーススタジアム
マリリンズがヤンキースを4勝2敗で破り、6年ぶり2度目の世界一に輝いた。最優秀選手(MVP)には、この日、完封勝ちしたジョシユ・ベケット投手(23)が選ばれた。
マ軍は5回2死から3連打で先制し、6回にも加点。2点のリードを先発ベケットが5安打完封と見事な投球で守り切った。
2試合連続で「4番(左翼)」に座ったヤンキース松井秀喜外野手(29)は4打数無安打。右飛、中飛、空振り三振、左飛だった。ワールドシリーズは通算23打数6安打の打率2割6分1厘、1本塁打、4打点で、目標としていた「世界一」には届かずメジャー1年目のシーズンを終えた。
ヤンキース・松井秀喜外野手の話「残念だし、悔しいです。それ以外にない。ヤンキースの一員である以上、ワールドチャンピオンになることが目標。また来年チャレンジするしかない。マリリンズは投手が良かった。なかなかヤンキースらしい攻撃をさせてもらえなかった」